

農協だより

JAくしろあおた

2018

9

No.10



塘路湖にて カヌー体験

index

目次

■ JAトピックス

- 酪農実習生受入協議会 キャンプ交流会 2
- 農水省畜産部長ら、酪農家視察 4
- 2番草収穫開始 5
- 新・農業人フェア参加 5
- 釧路ホルスタイン共進会参加 6

- 女性部通信 7
- 地域の出来事 8
- 営農ホットライン 10
- JAグループ通信 12
- 理事会報告 13
- 9月の行事予定・みんなの広場・編集後記 14

釧路太田農業協同組合

■発行：厚岸郡厚岸町太田5の通り19番地1 TEL.0153-52-7151
 ■発行日：平成30年9月1日 ■編集：金融課 ■印刷所：(有)厚岸印刷



←JA釧路太田オフィシャルウェブサイト
www.ja-kushirooota.or.jp/

ja 釧路太田



酪農実習生受入協議会

イチゴ狩り体験 おいしいイチゴ見つけた!

キャンプ交流会



小清水町「ほどほど舎」にて



釣り堀にて ニジマスGet!!



釣り堀にて



コテージにて みんなでワイワイ!

平成30年7月26日(木)〜27日(金)の一泊二日で虹別オートキャンプ場にて青年部員の協力のもと盛大にキャンプ交流会を開催しました。事前打合せ会議にて、場所や行程内容を相談して、その後は執行委員中心に進めました。天候不順による1番草の収穫遅れや、実習生も少ない中で参加人数に不安もありましたが、青年部員や実習生、事務局を含めて12名の方が参加する事ができました。

1日目は小清水町にて日本一遅いイチゴ狩り?として有名な「ほどほど舎」で1200坪もある畑で、採れたてのみずみずしい2種類の品種のイチゴを堪能し、収穫体験後は、いちごシャーベットや野菜を沢山頂きました。

その後、中標津に移動し、釣り堀「釣華」にて自然池を利用し、練り餌でニジマスなどのマス系の魚を、釣果を競い合いながら、とても盛り上がった釣り体験をしました。

途中、別海にて買物を済ませ、汗をかけた身体を日帰り入浴にてスッキリして、虹別オートキャンプ場にチェックインしました。

懇親会場であるバーベキューハウスにて焼肉を食べながら話も盛り上がり、その後も宿泊コテージに移り、ビールやジュースを片手に、プライベートや仕事の話しをしながら、笑い声が絶えない夜が更けていきました。

2日目は、朝カレーを作るために、前日からの下準備や、朝の調理担当についても役割分担



摩周湖第一展望台にて記念撮影



このカヌー沈没しないよねえ～



スイカ割り 上手に割れたかな？



朝カヌーの準備中！



おれのパドルさばき うまいでしょう？

をした中でハプニングもあり？ながら楽しくおいしいカレーライスを作り、みんなでスイカ割りを楽しみました。

その後、塘路湖でカヌーの川下り体験をするため「ファミリーカヌーとうろ」で川下りスタイルに着替え、アレキナイ川と釧路川の合流地点往復コースを体験しました。

カヌーに乗って湿原散策をしながら、川の流れやパドルの水切り音に耳を傾け、野鳥の鳴き声を聞きながら、釧路湿原の大自然を満喫する事ができました。

昼からは弟子屈に移動し、2017年より阿寒・摩周国立公園に名称変更した道東屈指のスポット「摩周湖」観光に行き、第1展望台からは透明度の高いきれいな摩周ブルーを見る事ができました。

2日間とも晴天に恵まれた中で、移動距離も長かったものの、それを感じる事なく楽しく有意義な時間を過ごし、実習生や青年部員にとってもリフレッシュになったのではないのでしょうか。

このような行事が、地域の皆さんの協力のもと開催され、農家と実習生の交流や、道東観光を通じ、北海道での良き思い出になるとともに、明日からの活力となる交流会を今後も続けていきたいと思っています。事務局としては、このような交流から、すてきなカップルが誕生して、ますます地域酪農を盛り上げてほしいと思っています。（願い）



糸納栄一牧場



農水省畜産部長ら、酪農家視察



女性の目線で酪農家と話す、丹菊生乳班長(右)

平成30年8月10日(金)に農水省の畜産部長をはじめ幹部、生乳班長ら数名が、当JAの酪農家を視察されました。

7月27日付けで就任された農水省の水野牛乳製品課長、8月8日付けで就任した丹菊牛乳製品課長補佐(生乳班長)、藤谷牛乳製品課畜産専門官、農政宮田生産振興局長らが、道内の酪農家や酪農関係団体などへ就任あいさつをするため、就任後初めて来道されました。

その際、当JAにおいて、家族経営による中規模経営の牧場視察と、その経営者並びに奥さんとの意見交換をされたいとのことで、案内役の釧路総合振興局原田部長を含む13名が厚岸町片無去にある「糸納栄一牧場」を訪問されました。糸納牧場では、つなぎ牛舎を視察し、家族で力を合わせ酪農経営に努力している経営者と、哺育や搾乳作業全般に亘り経営をサポートする奥

さんの話に耳を傾け、生乳班長は女性の立場として目線で、酪農現場での疑問点などについて積極的に質問され、畜産部幹部職員らが熱心に酪農に理解を深めようとする姿が印象的でした。このあと、根釧地区の大型酪農経営を行なっている農場をはじめ、複数の牧場を視察するとともに、十勝などの乳業工場も視察する予定とのことでした。

水野牛乳製品課長は、酪農関係紙面の中で、需給調整や生産基盤強化に全力で取り組む考えも示されており、今後の酪農・畜産現場に即した支援対策や予算確保、生乳需給調整などに期待するところであります。



酪農経営の実態を説明する、糸納氏と河村組合長



2番草収穫開始

～9月の天候に期待!～

平成30年8月22日より、コントラ事業による2番草のキザミサイレージ収穫が開始しました。6月中旬から始まったコントラ事業による、1番草のキザミサイレージ調整の終了は、JAコントラ事業始まって以降、もっとも遅い7月22日で、一昨年の7月14日より8日遅い終了となりました。

広報7月号で、掲載した通り、秋以降の生乳生産に影響が出るのは、避けられない状況にあります。

7月後半の好天で、ロールサイレージや乾草収穫も捗ったことと思いますが、刈り遅れであることは歴然であります。

例年通りお盆明けより、2番草の収穫が始まりましたが、草地によってはつい先日収穫が終わった場所もあり、草丈もバラバラな状態にあります。

22日からの2番草も、急な雨や台風など幸先が非常に心配されますが、何とか好天に恵まれ収穫が進んでほしいものです。

また、振興局のデントコーン調査によると、8月15日現在で、例年より1週間ほど成長が遅れているとのこと、終盤の生育や台風シーズンでの被害が出ないことを願うばかりです。

農業は自然との調和が大事ですが、ここ数年は異常気象に悩まされる状況が多くなっているのは気のせいでしょうか？

まずは、農作業事故に十分注意して、収穫作業などに当るようお願い致します。

新・農業人フェア参加

平成30年7月28日(土)に東京国際フォーラムにて、新農業人フェア2018が開催されました。今回は、全国より202件のブースが来ており、北海道根釧地区からは厚岸町を含め8ブースが出展しました。

フェアへの参加者は1006名で、厚岸町ブースには、男性4名、女性3名の計7名の方が訪問してくれました。

当日は台風の接近による悪天候のため、前回よりも300名以上も来場者が少なく、声掛けには場所や時間に制限が厳しくなり、積極的に声をかけなければ酪農関係の希望者は少なく苦戦をした所があります。

しかし、このようなイベントは就農希望者との唯一の接点であり、貴重なコミュニケーションの機会でもありますので、今後も粘り強く、本フェア出展を継続的に行ない、他地区との差別化を図りながら、新規就農者やヘルパー希望者や実習体験希望者などの人材確保に取組んで行きたいと思っております。



厚岸町のブース



釧路ホルスタイン共進会参加

平成30年8月17日(土)に、釧路農協連主催による、釧路ホルスタイン共進会が、釧路市大楽毛にある同農協連共進会場で開催されました。

釧路管内6JAから84頭が出品され、18部門で乳用牛の体形や立ち姿、乳房の形などを審査され、順位を競い合いました。

当地区からは、橋本隆幸さんが第2部未經産カーフクラス(10ヶ月～12ヶ月未満)に「サニーウェイ ブロカウ アートワーク ET」と、内柴栄輔さんが第13部シニア3歳クラス(42ヶ月～48ヶ月未満)に「IBW ハギワラ ウツドスター」の2頭が出品されました。



「サニーウェイ ブロカウ アートワーク ET」



「IBW ハギワラ ウツドスター」
 リードマン 内柴栄輔さん

今回、各部門において42頭が入賞し、9月22日(土)に安平町で開催される北海道総合畜産共進会に出品することとなりますが、当組合の2頭は、未經産カーフクラスでは8位、シニア3歳クラスでは4位の結果となり、惜しくも入賞を逃し、全道共進会への出場権を得ることができませんでした。

当JAからは残念ながら選拔されませんでした。が、忙しい酪農経営の中において、手塩にかけ乳牛改良に努められ、今年も参加されたことに感謝する次第であります。

次回の共進会等では、更なる高みを目指して、乳牛改良に頑張っていただきたいと思っております。今回参加された関係者の皆さま、大変お疲れさまでした。

管理課通信 釧路太田農協創立70周年記念旅行

釧路太田農協が創立して70周年を迎えるにあたり、記念旅行を企画いたしました。

広島・山口・津和野を巡る旅 4日間



広島：歴史もグルメも世界遺産も満載！良いとこ、来て見てみんさい！

日本三景の一つ「厳島神社」と「原爆ドーム」の2つの世界遺産を見に行こう！

山口：本州最西端の地で、岩国城や萩城跡を散策して歴史浪漫を巡ろう！

旅行実施日 **2018年10月16日～19日(4日間)**

参加申し込み先 JA釧路太田 管理課(担当：和田) ☎0153-52-7151

●どなたでも結構ですので、お気軽にお問い合わせ、ご参加ください。●



釧路地区管内J A女性部員交流会



平成30年8月1日(水)、最高気温が34度となる中、鶴居村にて「ふまねっと」体験と、昼食交流会が行われました。

「ふまねっと」とは、50センチ四方のマス目でできた大きな網を床に敷き、この網を踏まないようにステップを踏みながらゆっくり慎重に歩く運動で、全身のバランスや認知機能を向上させることを重視した運動学習プログラムです。

ゆったりとした手拍子に合わせて足踏みをしなが、ネットを踏まないように進んでいくのですが、これがまた思った以上に難しく…。簡単だと言っていたいざ動いてみると、考えている頭と、動いている身体はちがはぐで：(笑) みなさんも「あれ？」と笑いながら体験している様子でした。

講師の方を中心にワイワイしている様子を見ると、老若男女全ての方々が楽しめる運動だと感じました。また、昼食交流会ではグリーンパーク内のバ

ーベキューコーナーで、暑い中、炭台を囲い、パタパタと手で顔を仰ぎながら、熱々のジンギスカンや焼きうどんなどを美味しくいただきました。

その後、デザートにかき氷やソフトクリームなどを食べ、みさんん暑さも冷めすっきりした様子で帰宅されました。

現在、太田地区の女性の方は「ピラティスの会」を作り、月に2回講師を招いて、ピラティスを行っています。

みなさんもこのような「ゆる体操」を体験出来る機会がありそうときは是非チャレンジしてみてくださいいかがでしょうか？

身体もほぐれ、気持ちもリフレッシュ出来ることと思います！

J A 釧路太田女性部の活動でも、健康維持促進に繋がるような研修を考へ、行事に組み込んでいきたいと思ひますので、その際には多くの部員の参加をお待ちしております！



女性部員の加入者募集!!

女性部では、同じ地域に住む女性を、いろいろな交流や意見交換ができる仲間を、女性部を通じて見つけていただきたいと思います。

料理の好きな方、手芸が好きな方、お花や野菜づくりが好きな方など同じ趣味を持った女性や、子育て中の奥様達もたくさん加入しておりますので、一緒に活動してみませんか？

1人ではなかなかできないことも、地域の女性の仲間たちと一緒にチャレンジしてみませんか？ぜひお気軽に、事務局までお問い合わせください。(事務局：本間)



盆踊りイベント 各地区で開催

平成30年8月14日～16日にかけて、それぞれの地区でお盆のイベントが開催されました。
今年のお盆は、連日小雨が降ったり、大雨に悩まされながらも、何とか開催できました。



太田地区

JA鉦路太田本所のある、厚岸町太田地区においては、「太田自治会」主催による盆踊り大会が、14日午後7時より旧公民館講堂で開催され、雨天の中、午後8時より「太田で花火を打ち上げる会」による、花火大会が開催されました。小雨の降る中ではありましたが、澄んだ空気の中できれいな大輪が次々と打ち上げられ、大きな歓声が上がっていました。

その後、当JA青年部が中心となり、講堂内でこども縁日も開催され、大人たちはビールや焼鳥などを食べながら、短い夏を満喫した様子でした。



浴衣や甚平を着た子供たち大集合！



福引き 何が当たるかな？



ヨーヨーつり



こども縁日に大行列

尾幌地区



カッパに変身!



レディースの甚平も肌寒そう!



14日同時刻には、厚岸町尾幌地区において、「尾幌自治会」による仮装盆踊り大会が、保育所広場にて行われましたが、天候のためか仮装した子供たちは少なかつたようです。
カップパに扮装した子供も寒そうな表情でした。



片無去地区



大人も子供も一緒に盆踊り!!



15日午後7時から厚岸町片無去地区において、旧片無去小中学校体育館内で、盆踊りや出店も出展され、美味しいおでんやフランクフルト、ビールでお腹も満喫された様子でした。



お母さん達のおでんはいかが?

若松地区



アイスの早食いに子供たちは真剣



特賞をGet!!



15日に若松地区でも若松集会所内で盆踊りやアイスの早食い競争も行われ、アイスの冷たさに頭を抱える子供や大人が続出、その後大抽選会なども開催され、地域の大人や子供たちも、肌寒い短い夏の行事を楽しみ、大いに盛り上がっていました。

今年の牧草給与について

今年の1番草は、収穫作業の遅延・長期化により、水分・品質のバラツキと低下が懸念されます。給与上の留意点をまとめましたので、参考としてください。

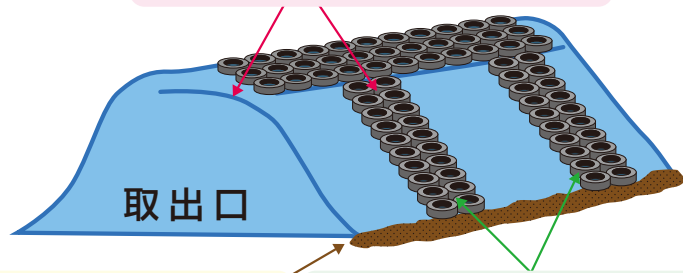
(1) 今年の牧草の品質を下げないためにサイレージの二次発酵を防ぐ

サイレージの二次発酵の原因は空気です。開封後、スタック・バンカーサイロの奥まで空気が侵入しないように、図1を参考に工夫しましょう。

給餌機・ミキサーの清掃の定期的な清掃

機械の隅に残った飼料は、カビや腐敗の原因になります。給与時に新鮮な飼料にカビ等が混入しないよう、給餌機・ミキサー類は清掃しましょう。

タイヤは、一度に沢山取り除かない
・その日取り出す長さだけ取り除く。
・取り除いたタイヤは、撤去せず、後方側面において、空気の侵入防止に活用



外縁は、土を隙間なく置く

- ・空気の侵入防止
- ・ネズミの侵入防止

※降雨で流失したときは足す。

スタック側面にもタイヤを置く。

- ・可能であれば、全側面に。
- ・タイヤが足りなければ、帯状に置いて、空気の侵入を防ぐ“壁”にする。

図1 サイレージ取り出し中の重石のポイント (スタックサイロの場合)

(2) 牛がもう一口食べられるように

粗飼料分析で品質・栄養成分を確認する。

今年の草は、品質・栄養成分に大きなバラツキがみられると思われます。分析で品質・栄養成分を把握し、飼料切り替え時は、急変を避け、乾物給与量の確保と栄養充足を図りましょう。



給餌機・ミキサーは定期的に掃除を

〈対応例〉

①次に開封するサイレージ(サイロ)が、現在給与中のサイレージよりも水分が高い場合

- ◆サイレージ切り替えは、3～7日掛け徐々に行い、牛の状態を確認する
- ◆生重給与量を多くする。
- ◆乾草など水分の低い草を併給する。

乾物摂取量の維持・確保

②繊維(NDFやADFなど)が、高くなった場合

◎繊維は消化が遅いので、採食量が下がる傾向にあります。

- ◆消化の早い粗飼料の併給
- ◆ビートパルプの給与

消化速度のアップ
= 乾物摂取量の維持・確保

③品質が芳しくない(食いつきが悪い)場合

◎同じサイレージやロール草の中にも、チモシーやオーチャードグラス、シバムギ等いろいろな草(=美味しい草、そうでない草)が混ざっています。

- ◆給餌回数と1回の給餌量を多めに給与して、牛が草を食べられるようにしましょう。



品質が芳しくない草は、多めに給与し牛に食べられる草を選ばせる。

掃き寄せと飼槽の掃除

- ◆牛の口元に飼料があるよう、掃き寄せを行きましょう。
- ◆長時間、エサが届かない位置にあると、牛は採食を諦めてしまいます。最低でも、給餌後、搾乳前後の6回/日以上は、行いましょう。
(掃き寄せロボットの場合は7～8回/日に設定)
- ◆変敗した飼料の臭いは食欲減退につながります。1日に最低1回は飼槽を掃除し、残飼を取り除きましょう。



牛の口元に草を

ロール草の細断

ロール給与の場合、強い牛が隣の牛の草まで引っぱったり、牛床に巻き込んだりしていませんか。草を細断すると、このようなことが軽減されるので、結果的に牛の口に入る草が増えます。

ロールカッター等細断する手段がある場合は、細断しましょう。



ロールカッターで草を細断

「声かけあって安全確認」

秋の全国農作業安全確認運動が始まりました（9月1日～10月31日）

■お問い合わせ先／普及センター東部支所 TEL.0153-65-2021

変わるJA 広がる地域のきずな

監修＝広島大学 助教 小林 文

Q、農協改革ってなに？

A、政府がJAに対し、「農業所得の増大」に最大限の配慮をするよう求めるはたらしきことです。

農業協同組合（JA）は、農業協同組合法（1947年施行）に基づいて設立されています。その法律が2015年に改正され、「農業所得の増大に最大限の配慮をしなければならない」ことが明記されました。加えて、農林中金・信連への事業譲渡による「信用事業の代理店化」や、「准組合員の事業利用のあり方」なども検討することになりました。

これらの検討について政府は、2016年4月から5年間で正組合員と准組合員の事業利用状況や改革の実施状況を調査し、組合員の評価を受けて改革の結論を得るとしています。また、政府は「担い手との話し合いが重要」としています。

大切なことは、組合員の皆さん自らがJAの将来を考えることです。JAが「農業者所得の増大」「農業生産力の拡大」に全力を尽くすことは当然でしょう。そして、組合員のくらしや地域を元気にする取り組みもJAの重要な役割です。地域にないならぬJAの未来を、組合員の皆さんで考えていきましょう。

これまでの経過と今後の見通し(スケジュール)

年度	主な出来事	JA大会決議・自己改革等(想定)
25	11月 「今後の農業改革の方向について」	
26	5月 「農業改革に関する意見」	11月 「JAグループ自己改革について」
	6月 「農協・農業委員会等に関する改革の推進について」	
27 (2015)	8月 改正農協法成立	10月 第27回JA全国大会
28	4月 改正農協法施行	9月 魅力増す農業・農村の実現に向けた提案
	11月 「農協改革に関する意見」「農業競争力強化プログラム」決定	
29		4月 魅力増す農業・農村の重点策
30		(第28回JA全国大会)
31	9月 会計監査の実施・中央会組織変更期限	「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」の確立
32 (2020)	3月末 改革の実施状況等調査の期限、検討・結論	
33		(第29回JA全国大会)

耕そう、大地と地域のめらい。

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

11月開催の第29回JA北海道大会に向けて組合員の声を反映させるため、9月末を期限とする組織討議を実施します。

原案には、前回大会で掲げたJAグループの将来ビジョン「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現」に向けて、農業所得増大やサポーター550万人づくりの継続実施などを盛り込むほか、重要性を増す「協同組合の価値と実践」を新たに加えております。

また、各JAにおける組織討議に加えて、組合員の皆さんから直接ご意見を提出いただけるよう、意見提出様式を公開しておりますので、ご提案を賜りますようお願い申し上げます。

第29回
JA北海道大会
組合員組織討議資料
北海道550万人と共に創る
「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」



JA北海道中央会
JA北海道大会実行委員会
（事務局：JA北海道中央会）



JA北海道信連

8月に、JAとうや湖等の協力を頂き、小学生の親子を対象とした『旬食カレッジin洞爺湖』を開催しました。じゃがいもの収穫体験、地元産じゃがいもやミニトマト等を使った料理教室、JAによる講演等を実施し、道産野菜のおいしさや栽培のこだわりなど、食や農の大切さを伝えることができました。

参加者には、「食に対する関心が高まり勉強になった」「また参加したい」など好評でした。



ホクレン

北海道産牛肉を炭火焼きで楽しんでもらう「第2回北海道牛肉まつりinさっぽろ」が7月29日から8月1日の4日間、札幌パークホテル駐車場特設会場で開催されました。このうち2日目の30日には「北海道産牛肉応援PR大使」でグルメタレントのアンジェラ佐藤さんが登場。

北海道庁とホクレンの若手職員計5人を相手に「大食い競争」に挑戦し、会場から大きな歓声が上がりました。



HOKUREN
Seeds
PROJECT

JA共済連北海道

8月3日に札幌・共済ホールにて「全道LA・スマサポ大会」が開催され、平成29年度普及活動で優秀な成績を収められたLA22名と、スマイルサポーター15名が登壇し表彰されました。

JA共済では、これからも「3Q訪問活動」と「あんしんチェック（保障点検活動）」の実践を通じて組合員・地域利用者の信頼と期待に応え、「安心」と「満足」の提供に努めてまいります。



JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様のため、健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、「広報誌『すまいる』」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



第5回 理事会報告

平成30年7月27日(金)

報告事項

1. 平成30年7月中旬現在の生乳生産状況及び6月末クミカン取引状況について

	当農協	釧路管内	全道
7月中旬	103.8%	102.4%	104.2%
累計	104.6%	101.4%	102.5%

2. 平成30年6月末農協財務状況について
3. 理事に対する資金の貸付に係る報告について
営農資金 1件
4. 組合員の加入について
女性正組合員 6名加入

議決事項

1. 理事に対する貸付金の貸付承認について
営農資金 1件

2. 第5回 釧路太田酪農祭について
3. 平成30年度 生乳流通合理化事業について
4. 平成30年度 乳用後継牛緊急確保事業の取り進めについて
5. 平成30年度 畜産クラスター事業について
6. 防衛施設周辺整備事業について
7. 新規就農の取り進めについて
8. 次期北海道生乳計画生産対策に係るJAグループ北海道組織討議について
9. ミルクローリーの入れ替えについて
10. 厚岸タイヤ商会に対する保証金の支出について

第6回 理事会報告

平成30年8月17日(金)

報告事項

1. 平成30年8月上旬現在の生乳生産状況及び7月末クミカン取引の推移並びにクミカン借方残組合員の取引状況について

	当農協	釧路管内	全道
8月上旬	102.2%	101.1%	101.4%
累計	104.3%	101.4%	102.4%

2. 組合員の加入について
女性正組合員 4名加入
3. 内部審査の結果について
4. 新・農業人フェア(東京会場)の結果について
5. 平成30年度 生乳汚染賠償責任保険料について
6. 営農委員会協議会によるバイオマス検討会の結果について

議決事項

1. 貸付金の貸付承認について
営農資金 1件 生活資金 2件
2. 理事に対する貸付金の貸付承認について
営農資金 1件
3. 第5回 釧路太田酪農祭について
平成30年9月15日(土) 開催決定
4. 新規就農の取り進めについて
5. 農協有草地の賃貸契約について
6. 平成30年度 異常気象緊急対策事業の実施について
JA独自対策の実施決定
7. 「第29回 JA北海道大会」組合員組織討議について
平成30年11月15日(木) 開催(札幌市)
8. その他
 - ・農協役員視察研修について
平成30年11月実施
 - ・第10回あつけし産業感謝祭について
平成30年9月23日(日) 開催決定

1(土)	新農業人フェア(東京池袋サンシャインシティ)	15(土)	第5回 釧路太田酪農祭
5(水)	Aコープ特売	17(月)	敬老の日
6(木)	一般市場	18(火)	釧路監事協議会道外視察研修(~21日) 根釧青年部・女性部事務局研修
7(金)	明治西春別工場落成50周年記念式典・祝賀会		
8(土)	釧路大漁どんぱく「農業農村フェアinKUSHIRO」	19(水)	Aコープ特売
9(日)	JA青年部・女性部協力	20(木)	一般市場
12(水)	Aコープ特売	23(日)	第10回 あっけし産業感謝祭 秋分の日
	監事監査(~13日)		
	乳牛市場	24(月)	振替休日
13(木)	一般市場	25(火)	第7回 理事会予定
14(金)	アルーダしべちや感謝フェア	27(木)	一般市場

みんなの広場

コミュニケーション

夏の暑さがアツという間に去ってしまいました。
ちょっぴりさみしい気分です。
(ペンネーム/コンサ大好き親父)



アイスおいしいです。もっといろんなしゅるい
だしてください。(ペンネーム/めい)

8月号のまちがいがしの解答

- 2 月の顔が違う
- 7 団子が減っている
- 8 ご飯の量が違う
- 9 お箸でおかずをつまんでいる
- 11 しょうゆ差しがある

8月号の当選者は5名です。おめでとうございます。
当選者にはJAより連絡致します。

記事・写真・イラストなど 大募集!!

身近で起きた出来事やベストショット写真、JAに対するご意見・ご要望など、読者の皆様からのご応募お待ちしております。
別紙の応募用紙に氏名・住所・電話番号を記入して、JA釧路太田事務所・Aコープおおた店・ホクレン太田・尾幌スタンド・酪農支援センターにある応募箱に投函してください。

編集後記

9月に入ると一気に秋めいてきますね!
秋といえば「食欲の秋」!
9月は酪農祭・産業祭とイベントが盛りだくさんです。
今年は農協創立70周年&産業祭は今年で10回を迎えそれぞれ節目の年として、どちらも盛大に行うようです!みなさんぜひお越し下さい。

編集担当/Y・T

